

2 0 2 3年度

事 業 報 告 書

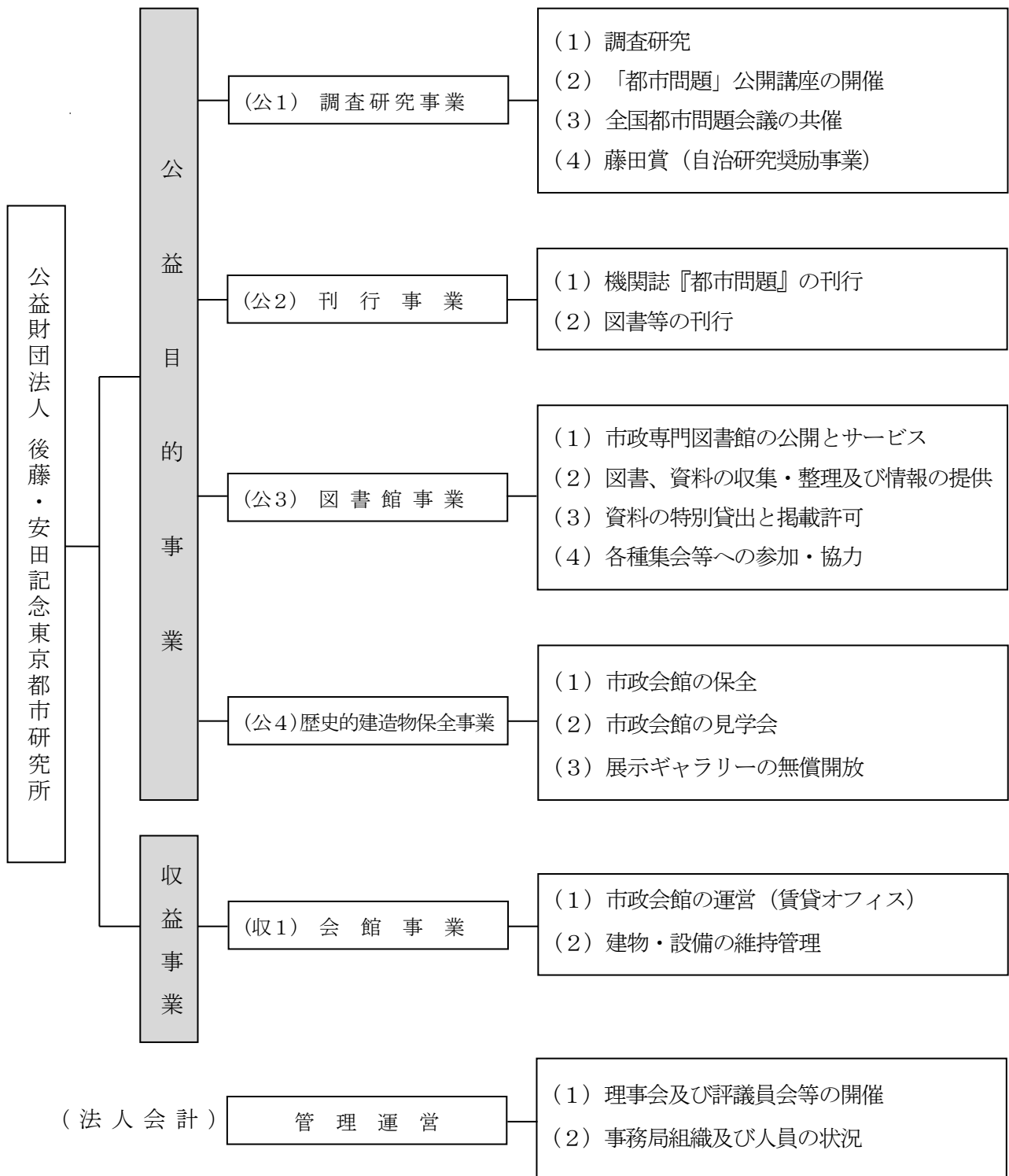
自 2 0 2 3年4月 1日
至 2 0 2 4年3月31日

公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所

目 次

事業体系	- 1 -
は し が き	- 2 -
1. (公1) 調査研究事業	- 2 -
(1) 調査研究	- 2 -
(2) 『都市問題』公開講座	- 4 -
(3) 全国都市問題会議	- 5 -
(4) 藤田賞（自治研究奨励事業）	- 6 -
2. (公2) 刊行事業	- 7 -
(1) 機関誌『都市問題』の刊行	- 7 -
(2) 図書等の刊行	- 7 -
3. (公3) 図書館事業	- 8 -
(1) 市政専門図書館の公開とサービス	- 8 -
(2) 図書、資料の収集・整理及び情報の提供	- 9 -
(3) 資料の特別貸出と掲載許可	- 10 -
(4) 各種集会等への参加・協力	- 14 -
4. (公4) 歴史的建造物保全事業	- 14 -
(1) 市政会館の保全	- 14 -
(2) 市政会館の見学会	- 15 -
(3) 展示ギャラリーの無償開放	- 16 -
5. (収1) 会館事業	- 16 -
(1) 市政会館の運営（賃貸オフィス）	- 16 -
(2) 建物・設備の維持管理	- 19 -
6. 管理運営	- 19 -
(1) 理事会及び評議員会等の開催	- 19 -
(2) 事務局組織及び人員の状況	- 21 -

事業体系



注) 事業体系の第三階層は、実績ベースである。

は し が き

本財団は、東京その他内外諸都市の都市政策に関する諸般の調査研究を行い、公私の機関と協力してその実現を期するとともに、歴史的建造物である市政会館の建物及び景観の保全を行い、もって都市自治の発展と市民生活の向上並びに都市問題の解決に資することを目的としている。

このため、本財団は、調査研究事業、刊行事業、図書館事業及び歴史的建造物保全事業の公益目的事業と、これらを財政面から支える収益事業としての会館事業を実施している。

2023年度の事業運営にあたっては、公益財団法人としての役割を踏まえつつ、2023年度事業計画に基づき、各事業の積極的な推進に努め、所期の成果をあげた。本年度の各事業の実施状況は、以下のとおりである。

<公益目的事業>

1. (公1) 調査研究事業

(1) 調査研究

① 共同調査研究

都市政策に資することを目的に、研究員が中心となり、次のとおり調査研究活動を行った。

ア 自主共同調査

2023年度の自主共同調査「東京23区の空き地に関する研究」は、まず、必要な基礎調査を行い、その結果を踏まえて、空き地のみならず空き家も含め、その《利活用》をテーマとして、「農的利用」「防災利用」「居場所づくり」という分野を設定し、各種事例の実踏およびヒアリング等の調査を実施した。さらに、2024年度に公表を予定している報告書の作成に向けた取りまとめ作業に着手した。

イ 特定課題調査

<関東大震災関連写真整理> 研究所に保管されているアルバム「関東大震災後の東京市内風景」(46枚)をデータ化し、37枚の撮影場所を特定し、調査結果をまとめたフォトブックを作成した。

<向島における関東大震災> 関東大震災が郊外化に及ぼした影響の一例として、旧向島区における関東大震災前後の市街化について、調査を進めた。その結果をすみだ向島 EXP02023(主催:一般財団法人八島花文化財団、開催期間:2023年10月1日~10月30日)にて「向島における関東大震災」として展示した。

② 受託調査

東京都立大学が東京日暮里繊維卸協同組合と連携して行っている「日暮里繊維問屋街における地域ストーリーの構築とその発信・提供手法の検討」に係る基礎調査（歴史調査・都市空間調査）の業務を２０２３年６月に受託した。日暮里繊維問屋街形成に関する資料収集・ヒアリング等を行い、２０２４年３月、報告書のデータを納入した。

③ 調査研究の成果の公表

２０２２年度自主共同調査の成果を、下記のとおり『都市問題』に公表した。

掲載号	タイトル	著者
２０２３年 ９月号	国勢調査等データにみる阪神・淡路大震災後のまちの変容 ――神戸市における震災復興土地 区画整理事業・市街地再開発事業実施地区を対 象とした比較	後藤・安田記念 東京都市研究所研究室
２０２３年 １０月号	被災したまちを「つくりなおす」 ――神戸市 長田区・鷹取東第一地区、旭若松、野田北部の ２８年	後藤・安田記念 東京都市研究所研究室
２０２３年 １１月号	コミュニティのバロメーターとしてのせせらぎ をつくり、育む ――神戸市兵庫区松本地区に おける震災復興土地区画整理事業	後藤・安田記念 東京都市研究所研究室

本研究所研究員が行った個別研究に係る研究論文を、下記のとおり『都市問題』に公表した。

掲載号	タイトル	著者
２０２３年 ７月号	都道府県議会議員の政策関心――「選挙公報 のテキスト分析」による選挙戦略・政策代表 の実態解明	吐合大祐
２０２３年 ８月号	宮古と八重山の市町村合併――「戦後琉球」 から「平成の大合併」まで	川手撰

本研究所研究員が行った個別研究に係る研究論文を、下記のとおり公表した。

後藤・安田記念東京都市研究所リサーチ・ペーパー No. 24

発行	タイトル	研究員
２０２４年 ３月２５日	住民投票と議会の関係性に関する一考察	菅谷慎一郎

『都市問題』の特集論文等として、本研究所研究員が下記のとおり執筆した。

掲載号	タイトル	著者
2023年 5月号	木造密集地域と地域産業 (特集：木密地域を問い直す)	濱田愛
2023年 9月号	帝都復興土地区画整理への反対運動 (特集： 関東大震災 100 年——復旧・復興の諸相)	田中暁子

④ 各種学会等への参加・協力

研究所としての団体加入のほか、研究員が、専門分野に応じ各種学会等に参加・協力している。

2023年度において、本研究所として団体加入しているもの、研究員の個人加入につきその会費等を負担したものは、次のとおりである。

団体加入	日本行政学会、自治体学会、 行政に関するアジア・太平洋地域機関（EROPA）
個人加入	日本行政学会、日本建築学会、日本公共政策学会、 日本政治学会、日本地方自治研究学会、日本都市計画学会

⑤ 外部機関、団体との提携、協力

ア EROPA：国際的な情報交換を行うため、行政に関するアジア・太平洋地域機関（EROPA）に加盟している（上述）。

イ 首都圏自治体シンクタンク等連絡会議：（公財）山梨総合研究所、（公財）日本都市センター、（公財）NIRA総合研究開発機構、神奈川県政策研究センター、（公財）東京市町村自治調査会及び本研究所の6団体で構成する第58回「首都圏自治体シンクタンク等連絡会議」が、2023年7月28日に山梨県生涯学習推進センター（幹事団体：（公財）山梨総合研究所）にて開催された。本研究所からは川手主任研究員・菅谷研究員が出席した。

ウ 研究員が、跡見学園女子大学、国際基督教大学、明治学院大学に非常勤講師として出講した。

（2）『都市問題』公開講座

『都市問題』公開講座は、地方分権改革や都市政策のあり方などをはじめとした重要トピックスをとりあげ、講演・パネルディスカッションによって、ひろく市民、自治体や中央政府の職員、研究者が議論を交わすために開催しているもので、同時に機関誌『都市問題』の普及を図ることを目的としている。

2023年度は以下のとおり開催した。

第54回『都市問題』公開講座	
日時・会場	2023年7月22日（土）13:00～16:00 日本プレスセンター10階ホール（オンライン配信併用）
テーマ	関東大震災100年—ひとびとは何を受け継いできたのか
出演者	＜講演・パネルディスカッション＞ 海老原 義也（鍼灸師／海老原商店オーナー） 小林 正泰（共立女子大学家政学部児童学科准教授） 中島 直人（東京大学・大学院工学系研究科都市工学専攻准教授） ＜司会＞小泉 秀樹（東京大学・大学院工学系研究科都市工学専攻教授、東大まちづくり大学院コース長）
参加者数・配信視聴者数等	・当日来場者数：47名 ・ライブ配信視聴者数：約45名 ・アーカイブ配信再生回数：約460回

第55回『都市問題』公開講座	
日時・会場	2024年2月3日（土）13:00～16:00 日本プレスセンター10階ホール（オンライン配信併用）
テーマ	地域の「居場所」をつくり、はぐくむ
基調講演	湯浅 誠（社会活動家）
パネルディスカッション	今井 紀明（認定NPO法人D×P 理事長） 勝部 麗子（豊中市社会福祉協議会 CSW） 木村 満里子（神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会 理事長） 田中 康裕（合同会社Ibasho Japan 代表） 坂本 治也（関西大学教授）＜司会＞
参加者数・配信視聴者数等	・当日来場者数：59名 ・ライブ配信視聴者数：約54名 ・アーカイブ配信再生回数：約380回

（3） 全国都市問題会議

全国市長会・日本都市センター・本研究所及び八戸市の4団体の共催で、第85回全国都市問題会議を下記のとおり開催した。

第85回全国都市問題会議	
日程	2023年10月12日（木）・13日（金）
会場	八戸市公会堂・公会堂文化ホール

テーマ	文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展
主催	八戸市、全国市長会、（公財）日本都市センター、本研究所
内容	基調講演：日比野 克彦（東京藝術大学長） 主報告：熊谷 雄一（八戸市長） 一般報告：吉川 由美（文化事業ディレクター） 花岡 利夫（東御市長） 鈴木 秀樹（（株）鹿島アントラーズＦＣ取締役副社長） パネルディスカッション： 小林 真理（東京大学大学院教授）（コーディネーター） 今川 和佳子（（合）imajimu 代表取締役） 松橋 崇史（拓殖大学教授） 頼重 秀一（沼津市長） 山崎 善也（綾部市長）
参加者	全国自治体の首長、地方議会議員等、約１，８００名

（４） 藤田賞（自治研究奨励事業）

地方自治、地方財政及び都市問題に関する優れた著書・論文に対し授賞する第４９回藤田賞は、２０２３年８月３日に開催された選考委員会における選考の結果、次のとおり決定し、８月２９日に授賞式を行った。

著書の部

<奨励賞>池田 真歩（北海学園大学法学部准教授）
『首都の議会－近代移行期東京の政治秩序と都市改造』東京大学出版会

論文の部

該当なし

選考委員は以下のとおり。

委員長 神野 直彦（東京大学名誉教授）
 委 員 池上 岳彦（立教大学教授）
 委 員 大西 隆（東京大学名誉教授）
 委 員 中北 浩爾（中央大学教授）
 委 員 山口 二郎（法政大学教授）

2. (公2) 刊 行 事 業

(1) 機関誌『都市問題』の刊行

機関誌『都市問題』を年間12冊（毎月1日発行、B5判、112頁程度）刊行した。『都市問題』は、ニュース性の高いテーマを取り上げる特集1（論文数5本程度、1本当たり文字数5,000～1万字）、地方自治や都市問題についての長期的、構造的テーマを掘り下げる特集2（論文数5本、1本当たり文字数1万字）で構成した。

発行部数は毎月2,000部、販売内訳は直送定期購読330部程度、取次店扱い600部程度である。

2023年度に取り上げた特集は下表のとおりである。

号数	特集1	特集2
4月号	[公開講座]エネルギーと地域の自治	学校と地域・コミュニティ
5月号	地域の「担い手」不足	木密地域を問い直す
6月号	物価高騰をこえて ——持続可能な成長へ	公共空間としての公園
7月号	フェスの可能性	孤独・孤立に立ち向かう
8月号	高齢多死社会と終活	文化芸術とガバメント
9月号	関東大震災100年——復旧・復興の諸相	
10月号	物流危機とドライバーの労働問題	地域における公立図書館
11月号	[公開講座]関東大震災100年—— ひとびとは何を受け継いできたのか	地域から見る漁業・水産業
12月号	闇バイト問題 ——その背景にあるもの	ジェントリフィケーションと都市の変容
1月号	ミニ・パブリックス ——その現在地と可能性	首長のリーダーシップを問い直す
2月号	行政のAI利用と規制	地方消費者行政の実行力
3月号	働くひとのメンタルヘルス	教育格差問題の現在

(2) 図書等の刊行

2023年度は図書等の刊行は行わなかった。

3. (公3) 図書館事業

(1) 市政専門図書館の公開とサービス

市政専門図書館は、都市問題及び地方自治を中心としてこれに関連する諸科学部門にわたり、図書資料の収集整理を行って一般に公開している。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため2020年6月17日から事前予約制による入館としていたが、5類感染症への移行に伴い2023年5月8日から自由に入館できることとした。本年度における公開日数は242日である。利用状況及び所蔵図書資料(2024年3月末日現在)は次のとおりである。

・利用状況

来館者・遠隔利用件数

(()内前年比)

来館者数	遠隔利用件数 (郵送複写、ILL複写)
988 (+678)	27 (-35)

利用冊数

(()内前年比) 単位：冊

閲 覧	貸 出	合 計
775 (-124)	201 (+41)	976

市政専門図書館OPAC(蔵書検索)の検索件数 単位：件

検索画面訪問数	検索実行回数
1,277,977	2,951,469

・コピーサービス

資料の保存と利用を両立させるため、古い資料を傷めずに複写する上向複写サービス及び比較的新しい資料を複写するセルフ複写サービスのほか、郵送複写サービスを提供している。全国の大学図書館などとの図書資料の相互貸借サービスであるナクシス アイエルエル NACSIS-ILLによる複写や国立国会図書館が提供する図書館向けデジタル化資料送信サービスを提供している。

館内複写

単位：件・枚

受付件数	上向複写枚数	セルフ複写枚数	合計枚数
172	3,633	3,032	6,665

郵送複写 単位：件・枚

受付件数	複写枚数
13	1,282

I L L複写 単位：件・枚

受付件数	複写枚数	依頼件数	複写枚数
14	100	0	0

図書館向けデジタル化資料送信サービス

受付件数	複写枚数
0	0

・レファレンス

単位：件

口 頭	電 話	文 書・メール	合 計
100	69	55	224

・所蔵冊数等

単位：冊

和 書	洋 書	合 計
103,618	22,602	126,220

このほか、都市図・都市計画図等2,003枚

(2) 図書、資料の収集・整理及び情報の提供

① 図書、資料の収集・整理・除籍

図書、資料の収集に当たっては、特に官公庁の行政資料の充実に努めているほか、欠年となっている統計書や雑誌の欠号補充に努めた。2023年度の受入冊数は次のとおりである。

単位：冊

	受 贈	購 入	合 計
和 書	139	122	261
洋 書	2	1	3
合 計	141	123	264

本年度末現在で入手中の和雑誌は137誌、洋雑誌は10誌

② 情報の提供

ア 新規受け入れ資料のデータ化及び公開

新規受け入れ分1,074件をデータ化し、入力データの累積数は

図書121,574件、雑誌論文記事106,666件、地図2,003件、

合計230,243件となった。

イ デジタルアーカイブス「後藤新平関係文書」の公開

後藤新平伯伝記編纂会によって収集された資料のうち、本財団が保管する34綴り、全57点の全文画像を「後藤新平関係文書」として電子化し公開した。文書の目録及び資料解説（東北大学・伏見岳人教授）も併せて公開した。

ウ 関東大震災100年展示会「関東大震災と東京の復興」の開催

2023年8月23日から9月22日まで市政会館（1階展示ギャラリー、地階064・065室、図書館内展示コーナー）において、関東大震災100年展示会「関東大震災と東京の復興」を開催した。関東大震災復興事業と東京市政調査会関係者などの活動に焦点をあて、所蔵資料から作成したパネルや所蔵地図などを展示した。会期中440名の観覧があった。

エ 「東京都指定有形文化財 市政会館・日比谷公会堂 模型展」の開催

2023年11月27日から2024年3月29日まで「東京都指定有形文化財 市政会館・日比谷公会堂 模型展」を開催した。今村仁美氏（アトリエイマージュ主催）が、本財団所蔵資料調査・市政会館実地調査を経て制作した、竣工当初の市政会館、日比谷公会堂のそれぞれのファサード部分の125分の1模型を中心に、関連資料や設計図面などを図書館内展示コーナー及び1階展示ギャラリーで展示した。会期中341名の観覧があった。

(3) 資料の特別貸出と掲載許可

市政専門図書館で所蔵する資料の撮影と掲載の許可を合計46件行った。そのうち、関東大震災100年に関連した企画等に関するものが半数ほどあった。

許諾先	許可内容（資料名）等	使用目的
(株)EXTO	『帝都復興写真帖』所収写真「横十間川と小名木川交叉点」	「江東区情報発信コーナー」（江東区「アリオ北砂」）写真パネル展示
(株)SPフォーラム	『東京市市域拡張区域分布図』（東京府、1932）	『関東大震災～1923年』（2023年6月刊行）
(株)ネクサス	『東京市政調査会館競技設計図集』所収「一等当選佐藤功一図案」ほか計5点	テレビ東京『新美の巨人たち』（2023年6月3日放送、「レトロ建築 in 日比谷公園」）
(株)建築資料研究社	『帝都復興事業図表』所収「第十五図復興大小公園」	『造景』（2023年8月刊行）
東日本旅客鉄道(株)	『東京大震火災地図 大正12年』	高輪築堤跡保存活用計画書
熊本市都市政策研究所	『熊本都市計画参考資料 第3輯』所収「熊本都市計画 劇場其ノ他分布図」	「熊本市都市政策研究所ニューズレター」第24号（2023年6月）

読売新聞 東京本社	『帝都復興写真帖』所収写真 「電車開通時代の新橋附近」ほ か計9点	読売新聞6月6日～10日連載企画 「関東大震災100年」
東京都土木技 術支援・人材 育成センター	『帝都復興事業図表』 「表 紙」、「第1図～第30図」	展示会「くらしと測量・地図」6月 7～9日、「土木技術講習会」7月7 日、展示会「東京 橋と土木展」1 1月21～24日
小学館『サラ イ』編集部	『帝都復興事業図表』所収「第十 図街路事業」他計2点	「関東大震災とその後の東京」 『サライ』2023年9月号
(公社)土木学 会	『帝都復興事業図表』所収「第 七図 土地区画整理」	『復興を描く』(2023年9月 刊)
読売新聞東京 本社	『東京復興計画一般図』ほか計 2点	「関東大震災100年 教訓」読売 新聞朝刊及び読売新聞オンライン (2023年6月9日)
千代田区立日 比谷図書文化 館	『後藤新平関係文書』所収「後 藤宛長尾半平書簡」	日比谷図書文化館主催・日比谷カレ ッジ「古書で紐解く近現代史セミナ ー第44回 新発見の後藤新平資料 から読み解く震災・復興」(202 3年9月2日)案内チラシ
農林水産省	『大正 大震災大火災』所収「食 料品の配給を受ける人々」ほか 計6点	「関東大震災から100年～非常食の 歴史と進化」(農林水産省「消費者 の部屋」企画展示2023年7月3 1日～8月9日)
(公社)日本測 量協会	『帝都復興事業図表』所収「第 二十八図 震災前の東京市」ほ か計4点	「小説から自然災害を知ろう～文豪 らが見た関東大震災～」月刊『測 量』2023年7月号記事及び説明 動画
日本放送協会 知財センター アーカイブス 部	『帝都復興記念帖』所収「神田 区秋葉原駅方面上空より上野方 面を望む」	「その時歴史が動いた 人を衛 ^{まも} る都市 をめざして～後藤新平・帝都復興の 時～」紹介動画クリップ(NHK アーカ イブポータルサイト)
伏見岳人・東 北大学大学院 法学研究科教 授	『後藤新平関係文書』所収「大 正十二年十二月、震災臨時議会 解散を予想しての声明案」	「震災100年目の新発見資料」 『後藤新平の会 会報』 28号(2023年7月)
慶應義塾大学 出版会(株)	『大正大震災記念建造物競技設 計図集』所収「大正大震災記念 建造物設計図 一等当選 透視図 東京 前田健二郎氏案」	『中国・朝鮮人の関東大震災』(2 023年8月刊)
法政大学 HOSEI ミュージアム	『大東京交通機関網図』	特別展「都市と大学～法政大学から 東京を視る～」(2023年9月1 ～30日)パネル展示・展示図録、会 期後の常設展示
(株)都市出版	『帝都復興事業図表』所収「第 七図 土地区画整理」ほか計1 1点	「関東大震災から100年 東京の 骨格をつくったインフラ復興」月刊 『東京人』2023年9月号特集

(株)産業経済新聞社	『帝都復興事業大観（上）』 「帝都復興計画東京市案一般図」	「関東大震災から100年を迎えて 当時の復興計画を振り返る」産経新聞 7月2日朝刊
東京都都市整備局 市街地整備部	『帝都復興展覧会ポスター（風景のイラスト）』ほか計2点	「関東大震災100年復興デジタルアーカイブ」（2023年7月公開）
南足柄市	『関東大震災記』 「湘南地方の惨害」ほか計13点	「関東大震災100年防災パネル展示」南足柄市役所及び市立図書館 （2023年8月28日～11月30日）
(株)毎日新聞出版	『帝都復興事業図表』 「第一図 震火災焼失区域、発火地点及延焼状況」ほか計6点	毎日ムック『後藤新平がわかる』 （Newsがわかる特別編）（2023年9月刊）
(有)湧人舎	『帝都復興展覧会ポスター』2点	(株)三誠 AIR 断震システムメールマガジン「エアー断震倶楽部」（2023年7月31日配信）
東京都都市整備局 都市づくり政策部	『帝都近傍図戦災焼失区域表示』	ワルシャワ市及びオソリン国立研究所（ポーランド）主催「戦災後の都市復興に関する展覧会」（2023年9月、ウクライナ・リヴィウ市ほか巡回展示）にてパネル展示
読売新聞東京本社	『東京震災録 地図及写真帖』 「浅草公園六区附近（9月7日）」	『広報東京都こども版』2023年9月号
公益社団法人 全国市有物件 災害共済会 防災専門図書館	『東京都市計画事業街路及運河附.街路及運河幅員間米突対照表』ほか計5点	防災専門図書館企画展『関東大震災から100年～備えよう！首都直下地震』（2023年8月21日～9月30日）
千代田区教育委員会	『東京市教育復興誌』 「東京市立小学校並市立図書館分布図（附 中等学校）」ほか5点	千代田区・千代田区教育委員会主催 令和5年度特別展『関東大震災100年 首都東京の復興ものがたり-未来へ繋ぐ100年の記憶-』（2023年9月1日～11月26日）
戎光祥出版	『熊本都市計画参考資料 第3集』 「待合貸座敷及芸妓置屋分布図」	『城郭がたどった近代』（2023年12月刊）
千代田区立日比谷図書館	『復興局公認東京都市計画図』ほか計14点	千代田区立日比谷図書館特別研究室企画展示『震災の記録と復興の足跡』（2023年9月1日～10月31日）
フジテレビ情報制作局	『大正十二年関東大震災新聞及び画報』 「東京日日新聞 大正12年9月4日」	「週刊フジテレビ批評」（2023年9月2日放送）
(有)湧人舎	『帝都復興展覧会ポスター』2点	『関東大震災100年 必ずやってくる巨大地震に備える』（2023年9月刊）

江東区土木部	『復興 [写真]』所収「焦土ノ帝都」ほか計3点	『震災復興橋梁×震災復興小公園まちあるきマップ』（2023年9月刊）
港区麻布地区総合支所	『三田 一万分之一地形図 東京近傍13号』	『ザ・AZABU』63号（2023年11月）
(有)湧人舎	『帝都復興事業図表』所収「第十図 街路事業」	(株)三誠 AIR 断震システムメールマガジン『エアー断震倶楽部』2023年9月29日号
(公財)東京都公園協会	『帝都復興事業図表』所収「第十五図 復興大小公園」	『緑と水のひろば2023特別号（都市公園制度制定150周年記念）』（2023年10月）
千代田区広報広聴課	『「東京」大震災火災発火地点』	『関東大震災100周年企画-震災からの復興-』（2023年10月より千代田区公式YouTubeチャンネルで放映）
アトリエイマージュ	『東京市政調査会館設計図集』所収「東京市政調査会館設計図一等当選 配景図」	千代田区立日比谷図書文化館特別研究室での市政会館模型展示（2023年9月1日～11月20日）説明チラシ
(一社)江東区観光協会深川東京モダン館管理事務所	『東京大震災火災地図 大正12年』、『東京復興計画街路・運河・公園・小公園・中央卸売市場・土地区画整理一覧図』	深川東京モダン館企画展『深川復興-関東大震災100年』（2023年11月1日～19日）
(一財)日本消防設備安全センター	『帝都復興事業図表』所収「第一図 震災火災焼失区域・発火地点及延焼状況」	『月刊フェスク』2023年11月号
東京都土木技術支援・人材育成センター	『復興局公認東京都市計画図』ほか計7点	『東京 橋と土木展』（2023年11月21日～24日）
港区男女平等参画センターリーブラ	「帝都復興のおちさん=馳せつけたビーアド博士夫妻」『週刊写真報知第1巻第2号』	『関東大震災100年-港区を中心に-』（2023年10月23日～11月30日）
東京工業大学博物館	『帝都大震災火災系統地図 附.解説及索引』	企画展『関東大震災に学ぶ火災旋風の恐ろしさ-関東大震災100年』（2023年12月～2024年3月）パネル展示、図録掲載
熊本市都市政策研究所	『熊本都市計画参考資料 第3輯』所収「熊本都市計画 土地高低図」	『熊本市都市政策研究所ニューズレター』25号（2024年2月）
(株)コスモ・スペース	『東京都市計画地図 附.東京都市計画地図事業索引』（1921）	(公財)日本消防協会の新会館での常設展示「防災啓蒙」動画
熊本市都市政策研究所	『熊本都市計画参考資料 第3輯』所収「熊本都市計画 工場分布図」	『熊本都市政策』Vol. 10（2024年7月刊行予定）

(4) 各種集会等への参加・協力

図書館事務の向上及び図書館活動の発展などを目的として加入している団体の研究会・大会に次のとおり参加した。

- ・専門図書館協議会2023年度全国研究集会（オンライン、7月26～27日）
第2分科会「図書館等の公衆送信サービスについて」（1名）
第3分科会「図書館の資料保存マネジメントの理論と実践」（1名）
- ・全国図書館大会岩手大会（オンライン、11月16～17日）
基調講演及び第6分科会「令和3年改正著作権法の施行後の動向～図書館サービスに活かす上で考えたいこと～」（1名）

4. (公4) 歴史的建造物保全事業

(1) 市政会館の保全

1929年に建設された市政会館の歴史的価値を維持して後世に継承することを目的として、建物及び景観を保全し、活用をすすめている。

2023年3月に「市政会館及び日比谷公会堂」が文化財保護法及び東京都文化財保護条例に基づく「東京都指定有形文化財(建造物)」となったことに伴い、東京都選定歴史的建造物の選定は同日付で解除されたが、新たに2024年1月、「特に景観上重要な歴史的建造物等」に選定された。

- ・「特に景観上重要な歴史的建造物等」は、東京都景観条例に基づき選定されるもので、東京都選定歴史的建造物と同様、東京都が定める歴史的景観保全の指針に基づき、建物から100メートルの範囲での建築行為等には歴史的景観への配慮が求められる。
- ・東京都有形文化財(建造物)に指定されたことにより、市政会館の躯体を保全する工事、意匠の復原を伴う工事等について、東京都文化財保存事業費補助金を受けられることとなった。

① 歴史的建造物保全事業工事（躯体の保全、復原等を伴う工事）

(単位：千円、税抜)

完了年月	件 名	金 額
2023年 5月	7階東西陸屋根等防水工事	3, 800
5月	110号室防水工事・ふかし壁設置工事	1, 551

9月	5階床置時計修理（左側振り子修理）	250
11月	正面玄関庇防水補修工事＊	683
11月	東側8階屋上防水補修工事＊	729
12月	7階（8階屋上の下部）天井塗装＊	285
12月	410号室天井復原等工事＊	3,600

＊印の工事については、東京都文化財保存事業費補助金（補助率50％）が交付された。

② 市政会館・日比谷公会堂の耐震化への対応

- ・2021年11月12日に設置された市政会館・日比谷公会堂保存活用計画検討委員会は、2023年度は6月までに3回開催され、本財団も所有者側の委員として出席した。同委員会では、保存管理計画、環境保全計画、防災計画等が検討された。また、舞台設備を搬入するためのエレベーターを備えた小規模な搬入棟の設置等の問題についても議論がなされた。
- ・市政会館・日比谷公会堂の耐震化工事に伴い、市政会館と公会堂を区画する防火区画（消防施行令8条）について、都や設計会社とともに丸の内消防署と協議し、おおむねの了解を得た。
- ・これらに伴う基本設計の修正や工事中の仮設計画などを都及び設計会社と協議し、実施設計に向けた課題の抽出と準備を進めた。

（2） 市政会館の見学会

2012年度より市政会館の認知度を高めることを目的として市政会館見学会を開始した。本年度はホームページやチラシ配布により一般募集する定期見学会を6月と11月の2回、その他にグループでの見学申込者のための見学会を6回開催した。

開催日	参加者	参加人数
2023年 4月 4日	グループ（地方公共団体金融機構）	8名
4月26日	グループ（市政会館グループ東京事務所長会）	9名
6月 8日	グループ（時事通信社社報チーム）	4名
6月29日	一般（定期見学会）	18名
7月 5日	グループ（大東文化大学・野瀬教授ゼミ）	16名
10月 5日	グループ（地方公共団体金融機構）	13名
11月 9日	一般（定期見学会）	18名

2024年 1月23日	グループ（外壁タイル研究者）	5名
----------------	----------------	----

また、2023年3月の市政会館の文化財指定を機に、入居テナントに文化財としての価値を解説するための見学会を下記のとおり開催した。

開催日	参加者	参加人数
2023年 4月12日	市政会館入居テナント	16名
4月20日	市政会館入居テナント	16名
5月17日	地方公共団体金融機構	13名
5月23日	指定都市市長会事務局	9名
5月25日	地方公共団体金融機構	14名

（３） 展示ギャラリーの無償開放

1階エレベーター裏ホール壁面を、絵画、写真、ポスター等の展示ギャラリーとして無償開放しているが、本年度は、以下のとおりの利用があった。

期 間	使用者	展 示 内 容
2023年 7月 5日～19日	盛岡市	「北東北」夏まつり展
12月19日～25日	個人	CHRISTMAS ART
2024年 3月 6日～19日	福井市	福井に行きたくなってまう展
3月27日～4月9日	秋田市	「北東北」春めぐり展

<収 益 事 業>

5. （収1）会 館 事 業

（1） 市政会館の運営（賃貸オフィス）

① テナントの入居

市政会館は、竣工以来賃貸オフィスビルとして、国・地方公共団体など公益性のある団体等が入居し、本財団事業活動の収入の源となっている。当面、将来の耐震化工事に備え、地階貸室については計画的に空室化を進めている。

2023年度のテナントの入居、退去は下表のとおりであった。

テナント入居・退去の推移（２０２３年度）

日 付	テナント名	貸 室
２０２３年 ４月３０日	矢野山岸法律事務所（退去）	１階１１０号室 ５９．５０㎡（１８．００坪）
５月 ８日	国会通り法律事務所（入居）	５階５１２号室 ４１．６１㎡（１２．６１坪）
５月３１日	国会通り法律事務所（退去）	４階４１０号室 ５９．５０㎡（１８．００坪） 地階倉庫０７１号室 ６．８９㎡（２．０９坪）
７月 １日	地方公共団体金融機構（入居）	１階１１０号室 ５９．５０㎡（１８．００坪）
１０月 １日	つなぐ。未来の会（入居）	地階０４１号室 ９６．９５㎡（２９．３８坪）
１２月１６日	盛岡市東京事務所（入居）	４階４１０号室 ５９．５０㎡（１８．００坪）
２０２４年 １月１２日	盛岡市東京事務所（退去）	５階５１４号室 ８７．４６㎡（２６．５０坪）
２月２９日	荻上玲子日弁連会長選挙事務所 （旧 つなぐ。未来の会）（退去）	地階０４１号室 ９６．９５㎡（２９．３８坪）

市政会館の供用状況

（単位：㎡）

市 政 会 館			面 積
延 床 面 積			１１，３５０
床 面 積	賃 貸 部 分		６，７９４
	内 訳	入 居 部 分 ※ （うち地階部分）	５，５９８ （９０４）
		空 室 部 分 （うち地階部分）	１，１９６ （８５４）
	本財団使用部分		９７０
	共 用 部 分 （休憩スペース・喫煙スペースを含む）		３，５８６

（２０２４年３月３１日現在）

注）・上記※は、下記「入居状況テナント別内訳」参照

市政会館貸室稼働率（賃料ベース）の推移

（単位：％）

年 度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
稼働率	93.9	96.3	90.6	85.4	85.6	84.8

注）・貸室稼働率＝実収入額（年額）÷満室収入額（年額）

- ・2019～2023年度は決算ベース、2024年度は予算ベースで算出
- ・地階部分を除く2023年度貸室稼働率は、93.5％である

入居状況テナント別内訳（50音順）

（単位：㎡）

団 体 名		貸室面積	団 体 名	貸室面積
国・地方自治体	長 崎 市 東 京 事 務 所	7 1	広 島 市 東 京 事 務 所	1 1 2
	福 井 市 東 京 事 務 所	9 6	盛 岡 市 東 京 事 務 所	6 0
	小 計 （4団体）		3 3 9 m ²	
社団法人・各種団体	行政情報システム研究所	4 1 9	指定都市市長会事務局	2 2 3
	地方公共団体金融機構	2, 9 0 2	日 本 A B C 協 会	3 3 1
	小 計（4団体）		3, 8 7 5 m ²	
法律事務所・会計事務所・その他	あ お い 法 律 事 務 所	2 6 9	浅 川 倉 方 法 律 事 務 所	5 9
	大 空 ・ 山 村 法 律 事 務 所	5 5	小 澤 英 明 法 律 事 務 所	8 3
	川 田 法 律 特 許 事 務 所	5 3	国 会 通 り 法 律 事 務 所	4 2
	三 栄 国 際 特 許 事 務 所	8 9	新 橋 綜 合 法 律 事 務 所	1 1 0
	竹 下 総 合 法 律 事 務 所	5 9	西 村 ・ 三 原 法 律 事 務 所	9 9
	日 比 谷 T & Y 法 律 事 務 所	8 3	公 認 会 計 士 税 理 士 前 川 昌 之 事 務 所	9 7
	弁理士法人前川知的財産事務所	1 1 5	山 田 ・ 合 谷 ・ 鈴 木 法 律 事 務 所	1 6 3
	オ ー ル 商 会 （ 倉 庫 ）	4	興 和 商 事 （ 倉 庫 ）	4
	小 計（16団体）		1, 3 8 4 m ²	
合 計（24団体）		5, 5 9 8 m ²		

（2024年3月31日現在）

② 市政会館連絡会等の実施

例年、テナントとの緊密な連携を図るための市政会館連絡会を年4回程度開催し、このうち2回は市政会館・日比谷公会堂共同防火管理協議会を併せて開催している。20

23年中は7月28日に第1回市政会館連絡会及び市政会館・日比谷公会堂共同防火管理協議会を対面方式で開催した。

また、12月18日に第2回市政会館連絡会を開催し、終了後、テナントとの懇親会を4年ぶりに開催した。

なお、2023年度の自衛消防訓練については、2023年11月24日に多くの在館者の参加を得て、4年ぶりに実際の消火訓練・通報訓練・避難訓練を実施した。その際、AEDの使用法講習会も行った。

(2) 建物・設備の維持管理

会館の維持管理及び良好な執務環境確保のために、設備の更新工事等を実施した。

主な設備更新等の工事

(単位：千円、税抜)

完了年月	件 名	金 額
2023年 6月	各階電気給湯器更新工事	2,490
11月	テナント電力量計更新工事	2,390
12月	5～7号空気調和機更新工事	59,000
2024年 1月	514号室原状回復工事	2,540
3月	1～4号空気調和機整備	2,061
合 計 (5件)		68,481

6. 管 理 運 営

(1) 理事会及び評議員会等の開催

① 理事会

回数・開催日等	議事事項
第1回 2023年6月7日 (市政会館第一会議室) 出席理事 9名 出席監事 2名	議案 (1) 2022年度事業報告の承認について (2) 2022年度決算の承認について (3) 役職員に対する賞与の支給率について (4) 2023年度第1回評議員会の招集について 報告事項 (1) 主要業務報告について (2) 市政会館・日比谷公会堂の耐震化への対応について

第2回 2023年11月28日 (市政会館第二会議室) 出席理事 9名 出席監事 2名	議案 (1) 職員給与規則の改正について (2) 役職員に対する賞与の支給率について 報告事項 (1) 主要業務報告について (2) 市政会館・日比谷公会堂の耐震化への対応について
第3回 2024年3月4日 (市政会館第二会議室) 出席理事 8名 出席監事 2名	議案 (1) 2024年度事業計画(案)について (2) 2024年度収支予算(案)、資金調達及び設備投資の見込み(案)について (3) 旅費規則の改正について (4) 審事委員の委嘱について (5) 役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規則の改正の提案について (6) 2023年度第2回評議員会の招集について 報告事項 (1) 主要業務報告について (2) 市政会館・日比谷公会堂の耐震化への対応について

② 評議員会

回数・開催日等	議事事項
第1回 2023年6月22日 (市政会館第一会議室) 出席評議員 7名 出席理事 2名 出席監事 2名	議案 (1) 2022年度事業報告について (2) 2022年度決算の承認について 報告事項 (1) 主要業務報告について (2) 市政会館・日比谷公会堂の耐震化への対応について (3) 常勤役員に対する賞与の支給について
第2回 2024年3月6日 (市政会館第一会議室) 出席評議員 8名 出席理事 2名 出席監事 2名	議案 (1) 2024年度事業計画(案)について (2) 2024年度収支予算(案)、資金調達及び設備投資の見込み(案)について (3) 役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規則の改正について 報告事項 (1) 主要業務報告について (2) 市政会館・日比谷公会堂の耐震化への対応について (3) 常勤役員に対する賞与の支給について

③ 監事監査

2022年度決算及び事業報告について、襲田正徳、中山弘子両監事の監査に付し、2023年5月30日、適正である旨報告があった。

④ 公認会計士監査

- ・ 2022年度決算について、平野洋公認会計士事務所の監査に付し、2023年5月25日に、適正である旨の監査報告書の提出を受けた。
- ・ 2023年度監査の一環として、上半期の財務情報について、平野洋公認会計士事務所による中間往査があり、2023年11月2日、中間往査実施報告の提出を受けた。

(2) 事務局組織及び人員の状況

(2024年3月31日現在)

事務局組織		人員数				外部委託
		職員	嘱託等	派遣	計	
研 究 部	研 究 室	5	—	1	6	—
	編 集 室	2	—	—	2	—
市政専門図書館	司 書 課	2	1	—	3	—
総 務 部	総 務 課	6※	1	1	8	—
	会館技術課	—	1	2	3	—
	会館管理課	—	—	—	—	10
計		15	3	4	22	10

注) ・嘱託等は、嘱託職員及びその他の職員である。

- ・※は育児休業中の職員1名を含む。